学園だより

エプソン情報科学専門学校
発行責任者　小林　敏一
2026 年 9 月発行

スマホの向こうには

学校長　小林　敏一



先日、山手線に乗りました。車内を見渡すとほとんどの人がスマホの画面に見入っていました。車内広告の多くはデジタルサイネージで、広告は流れるように現れては消え、次から次へと新しい情報が映し出されるのでした。

その光景に、まるで夢や空想の世界に迷い込んだような、不思議な感覚に包まれました。人は静かに手元の画面を見つめ、広告は途切れることなく流れ続けています。誰もその光景を不思議とは思わなくなってしまいました。

ただ、無機質な電車の中で、私もスマホを見ながら「今見ている情報は、必要なものなのか次々と現れる広告は、私に何をさせようとしているのだろうか」と思いました。

おそらく IT 技術は、その情報に興味を持たせるように一つ一つ丁寧に設計されています。画面は目を引くように作られ、その結果、気がつけば無意識に視線を向け、指を動かしているのです。私たちは、まさにそのような技術を身に着けるために勉強しています。

私も電車の中では、その一人になるのですが、すべてが流れていく中で、何か少し不安を感じました。その不安は「自分が何かを選んでいるのか」ということです。

そこで、「なぜ今これを見ているのか」と、自分に問いかけてみると、ほんの少しだけ「自分が選んでいる」という感覚を取り戻せたのです。あるいは「これは自分が知りたいことなのか」と考えてみる。そうすると、何か自分の中に小さな「区切り」が生まれ、自分が何を、なぜ選ぼうとしているのかに気づけたのです。ほんの一呼吸置くことで、自分自身で何かを考えるきっかけを作ることができたのです。

すべてが整い、すべてが用意されている時代だからこそ「用意されているものに疑問を持つこと」。それが流れに埋もれずにいるための、ささやかな支えになるのではないかと思います。

技術の発展は私たちの暮らしを豊かにしてきました。しかし、その恩恵をいかすために学生の皆さんには、一歩立ち止まり考え、自ら選び、行動する力を手に入れてほしいと思います。そうすることで、よりよい未来が作られると思うのです。

2026 年度入学式

教務部　野村

暖かい日が続き、桜が満開となった４月８日に、新入学生 37 名を迎えて入学式がホテル浜の湯で挙行されました。昨年に続いて今年も平日ではありましたが、昨年以上の保護者の方々にご出席いただきました。

髙倉洋右理事長からは、「社会の環境変化がとても速く、既存産業の構造を根底から変えつつある。IT 技術を使いこなし、現場で実際に動ける力が求められている。」と話がありました。そして、「学生の本分である勉強だけでなく、人間性豊かな技術者、社会に貢献できる人材を目指し、研鑽してほしい。いかなる課題に対しても、仲間と力を合わせ最後までやり抜く人材が社会において信頼を勝ち取る。皆さんの挑戦を全力で支援する。」との式辞が述べられました。

小林敏一学校長の訓辞では、「人は人との関わりの中で成長する」と話がありました。「トルコのことわざ“ブドウはお互いを見ながら熟す”のように、人は孤立して成長するのではなく、友人や先生など、多くの人との関わりの中で自らを磨き、新たな気づきを得て成長していく。互いに学び、支え合いながら、自らも誰かの成長を照らす存在となり、充実した学校生活を送ってほしい。」とメッセージが送られました。



新入生代表 S･M さん



新入生集中講座

教務部　山本

４月９日（木）・10 日（金）の２日間、新入生集中講座を実施しました。

１日目は、学生生活を円滑に送るためのルールや注意事項について説明を受けたほか、英語・数学・国語の学力検査を行いました。新入生は緊張した様子を見せながらも、真剣な表情で取り組んでいました。

２日目は、情報モラルや科目履修、日常生活について学び、PC の基本操作から授業資料へのアクセス、課題の提出、メールの送受信など、学校生活に必要な PC・ネットワーク環境について、実際に電源を投入するところから確認しました。

入学前には不安を感じていた学生もいたと思いますが、この 2 日間を通して少しずつ学校生活への準備が整ったことと思います。講座で学んだことを生かし、充実した学校生活を送って頂ける事を期待しています。



学生募集と進路ガイダンス

事務局　米窪

入試センターでは、主に 3 つの活動を行っています。

まず 1 つ目は、高校訪問や会場ガイダンスです。ガイダンス業者の皆様と連携し、高等学校での進路ガイダンスや、ホテル、ビッグハット、やまびこドームなどの会場で学校説明会を実施しています。開催時期や対象学年に応じて、高校生の進路選択や面接対策のお手伝いをしています。

2つ目は、オープンキャンパスや学校見学会です。高校生や保護者の皆様に本校の魅力や学びの環境を体感していただく機会として、学校説明や授業体験を行っています。また、高校からの依頼を受けて学校見学会や体験授業を個別に開催することもあります。

3つ目は、高校の先生方を対象とした進路連絡会です。進路指導担当の先生方や新任の先生方にご参加いただき、授業見学や施設見学、意見交換を通じて本校への理解を深めていただいています。

近年は生成 AI の普及や DX の推進に伴い、大学でも IT 系学科の新設が進むなど、学びの選択肢が大きく広がっています。一方で、若者の県外進学や首都圏への集中も進み、地域の人材確保が課題となっています。

進学先を選ぶこと自体を目的とするのではなく、自らの将来像を描き、その実現に向けて進路を選択してほしいと願っています。

今後も本校の教育理念・方針のもと、社会で活躍できる自律した人材の育成を目指し、地域企業と連携し、一人ひとりを大切にした教育と支援に取り組んでまいります。



高校の先生方を対象とした進路連絡会

オープンキャンパス開催

事務局　浜

年間を通して「オープンキャンパス」を開催しています。説明会、在校生スピーチ、施設見学、ランチ体験(11 月～2 月を除く)、学科別体験教室、保護者懇談といった充実した内容で、皆さんをお迎えしています。

皆さんに安心してご参加いただくため、学生スタッフが駐車場案内・受付・総合司会・見学誘導・体験教室など、一日をかけて皆さんをサポートします。休憩時間など学生スタッフと話せる場面もありますので、不安に思っていることなど先輩に何でも聞いてください。

11 月から 2 月は午前中のみの「ミニオープンキャンパス」を行います。高校生だけでなく社会人など、どなたでもご参加いただけます。また、3 月は「春のオープンキャンパス」を開催します。通常は 1

つの授業体験なのですが、この日は特別に 2 つの授業を体験することができます。さらにランチ体験もできて、学生生活の雰囲気を味わえるのでお薦めです。

お友達・ご家族とお気軽にご参加ください、お待ちしております！

オーキャン詳細→

学生スタッフのみなさんと校長先生









夏休み特別企画 「卒業生講話」



在校生スピーチ







学科別体験教室

TOPIC!

信越総合通信局長表彰を受賞して

教務部　山本

このたび、本校情報電子機械科の工事担任者資格における長年の教育実績が評価され、学校として信越総合通信局長表彰を賜りました。日頃より本校の教育活動をご支援いただいている関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

今回の受賞は、工事担任者資格の優れた合格実績と、資格取得を通じて実践力のある技術者を育成してきた取り組みが認められたものです。本校では、資格取得を目的とするのではなく、通信技術の基礎を確実に身に付け、現場で活躍できる力を養うことを重視しています。授業や実習に加え、放課後の補習や個別指導など、一人ひとりに寄り添った指導を継続してきました。

この受賞は、努力を重ねた学生、情報通信業界で活躍する卒業生、そして教育に携わってきた教職員や本校を支えてくださった多くの皆様と分かち合う喜びです。今回の受賞を励みに、今後も情報電子機械科を中心に、地域社会や産業界に貢献できる技術者の育成に努めてまいります。



表彰状

学校法人エスイー学園
エプソン情報科学専門学校　殿

あなたがたは工事担任者試験に係る認定学校等として長年にわたり資格教育に取り組み過去六年間において「第一級アナログ通信」「第一級デジタル通信」「総合通信」の合格者合計数が全国一位を達成しており高度な専門人材の育成を通じ業界発展と社会の信頼性向上に多大な貢献をされました
その功績は誠に顕著でありますので情報通信月間にあたり表彰します

令和八年六月一日

総務省信越総合通信局長
鈴木　厚志



2026 年度前期　資格取得実績

教務部　野村

本年も、本校の魅力の 1 つである資格取得制度を活用して、多くの学生が資格取得に挑戦しています。前期も多くの学生が成果を出すことができました。

2 年生につきましては、1 人あたりの目標取得件数（4 件）を大きく上回り、平均 8.55 件の取得となっております。次の目標として、卒業までに多くの学生が「10 ポイント以上獲得」できることを期待しています。

1 年生につきましては、多くの学生が資格を取得し始めており、学校・学科必須の資格に留まらず、上位の資格を取得する学生も出てきました。就職活動の武器となるように、積極的に挑戦してもらいたいと思います。

本校では、校内開催の検定試験を毎月実施しています。放課後に行いますので、授業終了後に受験することができます。休日に外部の会場に行く必要がなく受験できるのは、本

校学生の特権です。積極的に活用してください。対象となる検定試験は次の通りです。

◆ サーティファイ
- C 言語
- Java 言語
- Python 言語
- 実践プログラミング技術者試験
- AI 検定
- 情報処理技術者能力認定試験
- Web クリエイター

◆ J 検
- 情報活用
- 基本スキル
- プログラミングスキル
- システムデザインスキル
- 情報デザイン

◆ 日商ネット試験
- 日商簿記検定
- 日商 PC 検定
- 電子会計実務検定
- 日商プログラミング

◆ TOEIC（オンライン）

2026 年度前期資格取得状況は次の通りです。

2026/8/3確定

資格ランク	1年生	2年生			2026/3卒 2年間（24/4～26/3）
		1年次	2年次	計	
SS	0	0	1	1	0
S	0	1	0	1	2
A	1	40	3	43	30
B	1	33	4	37	28
C	20	117	32	149	145
D	60	277	22	299	202
計	82	468	62	530	407
平均取得件数	2.28	7.43	1.00	8.55	8.14

2026 年度前期に上位資格を取得した学生を紹介します。（2026 年 8 月 3 日現在）

<SS ランク取得学生>

★TOEIC800 点以上

テストでは、知らない単語が出てきたり、時間が足りなくなったりと、自分の力不足を感じる場面が数多くありました。あいまいな知識のままでは、実際に英語を使う場面で困ることになります。そうならないよう、今後は知識を定着させるための勉強に加え、実践で活用する力を養うためにスピーキングやライティングの学習に取り組みたいです。

（２年　情報システム科　W・I）



<A ランク取得学生>

★基本情報処理技術者試験

科目 A ではテキストは見ずに過去問を数年分勉強しましたが、本番では知らない問題が三割程度ありました。そのため、過去問題はほとんど完璧にしないと厳しいと感じます。

科目 B はアルゴリズムの考え方さえ理解していればいいので、サンプル問題を軽く触れる程度で問題ありませんでした。

この資格は社会人にとっての基礎知識を学ぶことができるので、学生にとって非常に有用な資格だと思います。ぜひチャレンジしてみてください。

（２年　情報電子機械科　S・T）





写真左から（情報電子機械科2年）S・T さん、（情報システム科2年）U・T さん

★日商簿記検定２級

私は就職活動が終わるまでに簿記二級を取得することを目標にしていました。しかし、思うように点数が伸びずに就職活動中は取得することができませんでした。それでも諦めたくないという気持ちがあり、就職活動が終わった後も勉強をつづけました。苦手な分野を繰り返し勉強し、間違えた問題を理解するまで解くということをした結果、簿記二級を取得することができました。この経験から目標を達成するためには途中で上手くいかなくてもあきらめずに継続することの大切さを学びました。

（２年　情報ビジネス科　K・S）



写真左から（情報ビジネス科2年）K･S さん、
（情報システム科１年）N･K さん



2026 年度前期　就職活動の状況

就職指導部　宮坂

内々定を獲得した２年生３名に自身の活動を振り返りながら、後輩の皆さんへのアドバイスを寄せていただきました。



情報システム科　K･M さん
（日本ナレッジ株式会社に内々定）

私は、就職活動の中で面接に一番苦労しました。何度練習を重ねても、いざ面接の場になると緊張してしまい、話そうとしたことを話しきれないことがほとんどだったからです。

面接に対しては、就職活動を乗り切った後の今でもかなり苦手意識があります。ですが私は就職活動を通じて、伝えたいことを抜き出して伝える力がついたように感じています。

話そうとしたことを緊張で忘れるならそれを最低限にすればいいのでは、と思い、自分の軸をはっきりさせてそれに沿って答えていくやり方に変えました。質問に答える時の核になる部分だけを抜き出し、面接を経験するたびにその軸を補強していきました。結果として、極度の緊張の中でもブレずに自分の考えを伝えられるようになり、無事に内定を得ることができました。

面接に不安を感じている方も多いと思いますが、自分なりの工夫で乗り越えられると思います。頑張ってください。



情報電子機械科　S･K さん
（株式会社日本ピスコに内々定）

私が就職活動で苦労したのは、エントリーシートの作成と面接でした。

書類選考では、自分の考えを端的に伝える難しさに直面しましたが、先生方にアドバイスをいただきながら納得がいくまで書き上げました。また、不安なときは友人と話をすることで、「自分も頑張ろう」と前向きな気持ちになれました。

面接では緊張から悩むことも多く、当日は不安でいっぱいでした。それでも「自分はすごいやつだ」と強い気持ちを持って本番に挑み、先生方のサポートも経て無事に内定をいただくことができました。

就職活動は一人で抱え込まず周囲を頼ることも大切です。当日は自分を過小評価せず、周りにいる誰よりも自信を持って、悔いの残らないようやり切ってください。





情報ビジネス科　K･N さん
（セイコーエプソン株式会社に内々定）

就職活動で特に苦労したことは、面接練習と自己分析でした。面接では、うまく話そうとするほど言葉がつまり表情も固くなることが多く、自分らしさを保つことが難しかったです。また、自己分析では強みが見えず弱みばかりが気になってしまい、「自分はどういう人なのか」を言語化する作業に苦しみました。

しかし、この 2 つに真剣に向き合った時間は確かな成長につながりました。面接練習では、話す順序を整理し自分の経験の中で何を伝えるべきかを選択することで、言葉に一貫性が生まれました。また、自己分析を重ねる中で自分がしてきた経験はどのようなことに意味があったのか、今後どのように繋げられるかを理解することができました。そして、自分が大切にしている価値観や行動の傾向がはっきりしました。

面接はうまく話す場ではなく誠実に伝える場、自己分析は答えを出す作業ではなく自分を理解するために行うことだと思います。頑張ってください。



学生会行事（学生交流会）

令和８年度学生会長　Ｙ・Ｙ

私たちは「自分が入学した時に感じていた勉強や就活での不安を解決したい」という思いから学生交流会の企画を始め、勉強の進め方や就活の準備などを気軽に相談できるよう５月末に学生会主催の交流会を開催しました。

交流会は初の取り組みだったのにもかかわらず、１年生１７名、２年生は役員１０名が参加してくれました。



先輩が自己紹介を通して、過去の失敗や挫折を乗り越えた経験を伝えたことで、緊張していた１年生も笑顔で話してくれました。

事後アンケートでは、「不安の解消ができた」や「また開催してほしい」との声があった為今後も開催していきたいと思います。

今後は役員だけでなく、多くの学生が関われる交流会を目指します。



学生会行事（スポーツ祭）

令和８年度学生会長　Ｙ・Ｙ

今年のスポーツ祭は６月５日に、体を動かしながら学年や学科問わず交流を深め楽しい学校生活を送ることを目的として岡谷市民総合体育館で行いました。

今年は体育館工事の影響で使用できるコートが限られていたので例年とは異なり競技をバレーボールの１種目に絞り、全てのチームと対戦し多くの人と関わり仲を深められるよう工夫しました。

当日は総勢１００名で２グループに分け試合を行いました。初めは緊張気味だった人も、初対面の人と声を掛け合いながら優勝に向けて全力で取り組んでいました。

試合中には、「ナイスプレー」や「どんまい」など励ましの声も聞こえ、学科や学年の壁を無くすことができました。役員の協力や全校の皆さんのサポートがあり、準備や片付けもスムーズに終えられました。ご協力ありがとうございました。今後の学校生活もスポーツ祭で打ち解けた仲間と助け合いながら楽しい学校生活を送りたいと思っています。



６月５日(金) スポーツ祭（岡谷市民総合体育館にて）











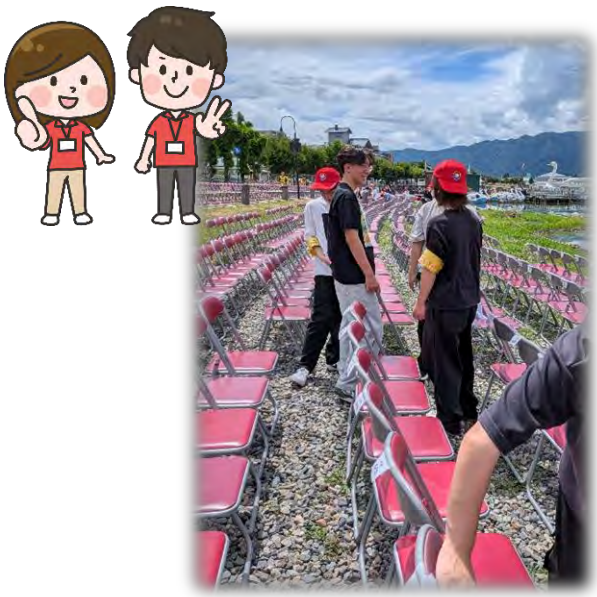
花火大会ボランティア

１年　情報システム科　U・T

諏訪湖祭湖上花火大会のボランティアに参加しました。全国から集まる多くの観客を笑顔で迎える誘導や美化活動は想像以上の忙しさでしたが、イベントを陰で支える大きなやりがいを実感しました。

特に印象的だったのは、夜空を埋め尽くす大迫力の花火を間近に感じながら、活動を通じて他のボランティア仲間や地域の方々と一体になれたことです。観客からの「ありがとう」という温かい言葉が何よりの励みになり、疲れも吹き飛びました。

地域の伝統行事に深く関わり、その成功に貢献できたことは一生の記念です。大変な面もありましたが、参加して本当に良かったです。また挑戦したいです。





Growth Challenge 2026

１年　情報システム科　U・K

セイコーエプソン（株）からの声かけをきっかけに「GROWTH CHALLENGE」に参加 しました。

GROWTH CHALLENGE では、地元企業や自治体が抱える課題について、私たち学生が企業の方々と共に限られた時間の中で解決策を考え、最終的に出た案をグループで発表しました。専門学校の講義だけでは体験できない、実際の地域や企業の持つ課題に挑む難しさを実感したと共に、諏訪東京理科大と信州大学の学生と協議し、他校との枠を超えて一つの目標に向かって協働する貴重な経験を得ました。

協議の中で、時には思い通りにいかず悩むこともありましたが、同じグループの仲間と意見を交わし、力を合わせて乗り越えた経験は、私にとって大きな自信

になっています。今回の挑戦を通して学んだ「新しいことに向き合う面白さ」や「仲間と協力して形にする楽しさ」を大切に、これからも自分の可能性を広げていきたいです。



社会人向け職業訓練について

IT 研修センター　松澤

DX 人材不足が叫ばれており、求職者、在職者ともにスキルアップやリスキリングのニーズが高まっています。ＩＴ研修センターでは、今年度も公共職業訓練と在職者訓練に取り組んでおります。

求職者を対象に情報セキュリティや PC スキル、ビジネスマナーの学び直しに加えてオンラインアプリケーション、Web スキルの習得や資格取得を支援しております。訓練終了時のアンケート調査においては、カリキュラム内容や施設の環境、就職支援などの各項目において「大いに満足」との回答を得ています。

在職者を対象とした生産性向上訓練では、「Excel 関数活用の初級・中級」、「Excel 集計＆分析テクニック」のコースを計画しております。

また、Epson 社員を対象に Excel 関数の初級・中級（各１日間コース）のリスキリング教育を実施しており、今年度の対象者は述べ 600 名ほど受講予定です。

今後とも求職者や在職者、地元企業にとって、有益な訓練内容となりますよう努めてまいります。



2026年度　IT研修センター活動予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	１０月	１１月	１２月	1月	2月	3月	総数
求職者		3か月 5/8　ITオフィスアプリ基礎科8名　8/7終了				4か月 8/19　基礎からの PCスキル・Webエキスパート科15名　12/18終了		3か月 11/5　初歩からのパソコン＆AI活用科 21名（予定）　2/4終了					44名 （予定）
在職者				7/29・7/30 准看護学院教育 8名		9月2日 Excel関数初級 12名 9月9日 Excel関数中級 7名		11月18日 Excel関数初級 15名（予定）	12月2日 Excel関数中級 15名（予定）	1月20日 Excel集計＆分析 15名（予定）			672名 （予定）
						Epsonリスキリング教育　初級・中級（1日コース　各10組）　5月～2月　のべ600名（予定）							

編集後記

事務局　名取

今年度より学園だよりは年 2 回から年 4 回発行となりました。これまで以上に学生の皆さんの活躍や学校の様子をタイムリーにお伝えしていきます。今号は 6 月号・9 月号を合わせてお届けしました。次号は 12 月続いて 2 月末の発行を予定しています。原稿執筆にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。後期も充実した学園生活を送りましょう。